



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 杉本 達哉 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 434,726 | 11.3 | 37,654 | 30.2 | 39,094 | 25.4 | 28,186 | 26.9 |
| 2022年3月期第3四半期 | 390,499 | 36.0 | 28,914 | — | 31,174 | 659.9 | 22,203 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 31,434百万円(22.0%) 2022年3月期第3四半期 25,769百万円(63.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年3月期第3四半期 | 円 銭 661.25 | 円 銭 — |
| 2022年3月期第3四半期 | 520.87 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|----------------|----------------|-----------|
| 2023年3月期第3四半期 | 百万円 788,167 | 百万円 387,037 | % 44.5 |
| 2022年3月期 | 728,187 | 365,004 | 45.3 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 350,769百万円 2022年3月期 329,713百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|---------------|---------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2022年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 80.00 | 円 銭 — | 円 銭 100.00 | 円 銭 180.00 |
| 2023年3月期 | — | 100.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 100.00 | 200.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 570,000 | 7.6 | 45,000 | 21.7 | 46,000 | 17.3 | 34,000 | 26.4 | 797.63 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 43,448,769株 | 2022年3月期 | 43,448,769株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 822,826株 | 2022年3月期 | 822,129株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年3月期3Q | 42,626,419株 | 2022年3月期3Q | 42,627,056株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |
| 3. 補足説明資料 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進み、景気の回復が期待されるものの、ウクライナ情勢の長期化に起因する原燃料供給の制約や世界的な物価上昇、また急激な為替の変動による混乱など景気の下振れリスクを内包した不透明な経営環境が継続しております。

このような状況の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体などを中心とした部品の供給不足に加え、中国におけるロックダウンの影響により、前年同期比で減少しました。同様に産業機械の受注も、供給制約の影響を受け減少基調となりました。また、半導体関連の受注は、5Gの普及やデータセンターの建設・更新需要により堅調に推移してはいましたが、足元ではシリコンサイクルの弱含みによる在庫調整の影響が出始めております。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。一方で、エネルギー関連、環境対応で需要が増加している自由鍛造品については、2016年以降、将来の需要増加を見越した戦略設備の投資効果により、その需要を捕捉することができており、高付加価値製品の受注が増加しました。

主要原材料である鉄屑価格は、国際価格の影響により高値で推移し、ニッケルなどの各種合金類については供給制約などにより前年を上回る価格で推移しております。また原油・LNG価格高騰により電力などエネルギーコストも増大しました。一方、適正マージン確保のため、徹底したコスト削減および販売価格の是正に継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比442億26百万円増収の4,347億26百万円、経常利益は前年同期比79億20百万円増益の390億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比59億83百万円増益の281億86百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車減産の影響により、前年同期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、国際価格の影響により高い水準で推移し、また、エネルギーコストは原油価格の高騰により増大しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量は減少したものの、原燃料価格の上昇を販売価格に反映させたことにより前年同期比11.9%増加の1,622億3百万円、営業利益は、前年同期比63億48百万円増益の85億11百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連向け需要の減少に加え、半導体関連や電気電子関係では足元で一部在庫調整の動きがあり、前年同期比で数量は減少しました。磁石製品は、自動車減産の影響を受け、売上高は前年同期比で減少しました。粉末製品は、自動車減産により数量は減少したものの、原燃料市況の上昇を販売価格に反映させたことで、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレス鋼の売上数量は減少したものの、ニッケルなどの各種合金の価格上昇により前年同期比14.5%増加の1,672億53百万円、営業利益は前年同期比10億54百万円減益の200億34百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品および精密鋳造品は、自動車減産の影響を受け、それぞれ売上高は前年同期比で減少しました。一方、自由鍛造品は、重電需要、船舶用バルブが堅調に推移し、航空機需要も回復基調となっていることから、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における自動車部品・産業機械部品の売上高は、自由鍛造品の売上高増加により前年同期比8.3%増加の752億30百万円、営業利益は前年同期比15億89百万円増益の59億13百万円となりました。

④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉の受注などが増加したことから、当第3四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上高は、前年同期比3.8%増加の135億44百万円となりました。営業利益は、前年同期比16億40百万円増益の6億78百万円となりました。

⑤流通・サービス

当第3四半期連結累計期間における流通・サービスの売上高は、前年同期比3.5%減少の164億93百万円、営業利益は前年同期比1億81百万円増益の25億2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ599億80百万円増加し7,881億67百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「棚卸資産」の増加294億20百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加85億73百万円、「電子記録債権」の増加73億10百万円であります。

総資産の増加の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「棚卸資産」は、主として原燃料市況の高騰により増加しております。
- ・「受取手形、売掛金及び契約資産」および「電子記録債権」は、原燃料市況の高騰に対して、販売価格の是正に取り組んだことにより増加しております。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ220億32百万円増加し3,870億37百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益281億86百万円の計上等による「利益剰余金」の増加196億59百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

金融引締め等による海外景気の下振れリスクや、ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクの高まりなど不透明な経営環境が継続すると見込まれます。当社の主要需要先である自動車関連の需要は、半導体を中心とした部品の供給不足により調整局面が継続する可能性があります。需要が堅調であった半導体関連、電気電子関係では一部在庫調整の動きも見受けられることから、需要動向に関しては慎重に見ていく必要があります。また、コスト面についても地政学リスクによるサプライチェーンの混乱などにより原燃料価格や資材価格の高騰が継続する可能性も考えられ、徹底したコスト削減努力を継続するとともに、再生産可能な価格水準の確保に努めてまいります。

なお、当期の連結業績につきましては、前回(2022年10月28日)公表したもののから修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 58,142 | 74,560 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 125,502 | 134,076 |
| 電子記録債権 | 24,345 | 31,656 |
| 棚卸資産 | 174,624 | 204,044 |
| その他 | 9,150 | 9,645 |
| 貸倒引当金 | △78 | △48 |
| 流動資産合計 | 391,686 | 453,935 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 78,832 | 78,551 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 95,232 | 89,801 |
| その他（純額） | 49,636 | 50,842 |
| 有形固定資産合計 | 223,701 | 219,195 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 3,776 | 4,208 |
| 投資有価証券 | 86,456 | 82,299 |
| 退職給付に係る資産 | 15,840 | 20,432 |
| その他 | 6,799 | 8,156 |
| 貸倒引当金 | △73 | △58 |
| 投資その他の資産合計 | 109,022 | 110,828 |
| 固定資産合計 | 336,500 | 334,232 |
| 資産合計 | 728,187 | 788,167 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 53,847 | 50,175 |
| 電子記録債務 | 11,321 | 11,730 |
| 短期借入金 | 84,562 | 123,710 |
| コマーシャル・ペーパー | 47,000 | 43,000 |
| 未払法人税等 | 10,157 | 3,245 |
| 賞与引当金 | 7,789 | 3,641 |
| その他の引当金 | 528 | 403 |
| その他 | 14,896 | 22,781 |
| 流動負債合計 | 230,104 | 258,687 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 25,000 | 35,000 |
| 長期借入金 | 69,911 | 68,930 |
| その他の引当金 | 4,240 | 3,903 |
| 退職給付に係る負債 | 13,402 | 13,631 |
| その他 | 20,524 | 20,977 |
| 固定負債合計 | 133,078 | 142,443 |
| 負債合計 | 363,183 | 401,130 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 37,172 | 37,172 |
| 資本剰余金 | 31,228 | 31,229 |
| 利益剰余金 | 238,443 | 258,102 |
| 自己株式 | △3,663 | △3,666 |
| 株主資本合計 | 303,179 | 322,837 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,323 | 18,459 |
| 繰延ヘッジ損益 | 10 | 61 |
| 土地再評価差額金 | 657 | 657 |
| 為替換算調整勘定 | 4,968 | 6,193 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △426 | 2,559 |
| その他の包括利益累計額合計 | 26,533 | 27,931 |
| 非支配株主持分 | 35,290 | 36,267 |
| 純資産合計 | 365,004 | 387,037 |
| 負債純資産合計 | 728,187 | 788,167 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 390,499 | 434,726 |
| 売上原価 | 321,092 | 355,823 |
| 売上総利益 | 69,406 | 78,902 |
| 販売費及び一般管理費 | 40,492 | 41,247 |
| 営業利益 | 28,914 | 37,654 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 105 | 134 |
| 受取配当金 | 1,973 | 2,218 |
| 持分法による投資利益 | 514 | 364 |
| 為替差益 | 80 | — |
| その他 | 1,389 | 1,323 |
| 営業外収益合計 | 4,063 | 4,040 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 605 | 675 |
| 為替差損 | — | 488 |
| 固定資産除却損 | 480 | 475 |
| 環境対策費 | 246 | 354 |
| 環境対策引当金繰入額 | 39 | 46 |
| その他 | 432 | 561 |
| 営業外費用合計 | 1,804 | 2,600 |
| 経常利益 | 31,174 | 39,094 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 5,412 | 43 |
| 特別利益合計 | 5,412 | 43 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 2,281 | 503 |
| 事業整理損 | 424 | — |
| 特別損失合計 | 2,705 | 503 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 33,881 | 38,635 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,593 | 9,372 |
| 法人税等調整額 | △145 | △617 |
| 法人税等合計 | 9,448 | 8,754 |
| 四半期純利益 | 24,432 | 29,880 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,229 | 1,693 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 22,203 | 28,186 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 24,432 | 29,880 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,542 | △2,836 |
| 繰延ヘッジ損益 | 13 | 51 |
| 為替換算調整勘定 | 2,716 | 1,303 |
| 退職給付に係る調整額 | 108 | 3,005 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 39 | 30 |
| その他の包括利益合計 | 1,336 | 1,553 |
| 四半期包括利益 | 25,769 | 31,434 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 23,106 | 29,585 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,663 | 1,849 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社および一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税並びに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 特殊鋼鋼材 | 機能材料・ 磁性材料 | 自動車部品 ・産業機械 部品 | エンジニア リング | 流通・ サービス | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|---------|---------------|----------------------|--------------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 144,915 | 146,011 | 69,437 | 13,044 | 17,091 | 390,499 | — | 390,499 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 51,730 | 11,069 | 21,300 | 277 | 10,670 | 95,048 | △95,048 | — |
| 計 | 196,646 | 157,080 | 90,738 | 13,322 | 27,761 | 485,548 | △95,048 | 390,499 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 2,163 | 21,089 | 4,323 | △962 | 2,321 | 28,935 | △20 | 28,914 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

一部の連結子会社14社について、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は1,504百万円増加、セグメント利益は105百万円増加し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,526百万円増加、セグメント利益は158百万円増加し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は3,850百万円増加、セグメント利益は454百万円増加し、「流通・サービス」における売上高は4,640百万円増加、セグメント利益は179百万円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 特殊鋼鋼材 | 機能材料・ 磁性材料 | 自動車部品 ・産業機械 部品 | エンジニア リング | 流通・ サービス | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|---------|---------------|----------------------|--------------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 162,203 | 167,253 | 75,230 | 13,544 | 16,493 | 434,726 | — | 434,726 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 59,148 | 13,254 | 26,616 | 421 | 12,603 | 112,045 | △112,045 | — |
| 計 | 221,352 | 180,508 | 101,847 | 13,966 | 29,096 | 546,771 | △112,045 | 434,726 |
| セグメント利益 | 8,511 | 20,034 | 5,913 | 678 | 2,502 | 37,640 | 14 | 37,654 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料

(1) 当第3四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | | 営業利益 | |
|------------|-------------------|-----------------------|-------------------|--------------|
| | 2022年12月 第3四半期 | 前年同期差 増減額 (増減率) | 2022年12月 第3四半期 | 前年同期差 増減額 |
| 特殊鋼鋼材 | 162,203 | 17,287 (11.9%) | 8,511 | 6,348 |
| 機能材料・磁性材料 | 167,253 | 21,242 (14.5%) | 20,034 | -1,054 |
| 自動車・産業機械部品 | 75,230 | 5,792 (8.3%) | 5,913 | 1,589 |
| エンジニアリング | 13,544 | 500 (3.8%) | 678 | 1,640 |
| 流通・サービス | 16,493 | -597 (-3.5%) | 2,502 | 181 |
| 調整 | — | — | 14 | 34 |
| 計 | 434,726 | 44,226 (11.3%) | 37,654 | 8,740 |

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

| | 2022年12月 第3四半期 | 前年同期差 増減額 (増減率) |
|---------------------|-------------------|-----------------------|
| 売上高 | 434,726 | 44,226 (11.3%) |
| 営業利益 | 37,654 | 8,740 (30.2%) |
| 営業外損益 | 1,440 | -819 |
| 経常利益 | 39,094 | 7,920 (25.4%) |
| 特別損益 | △459 | -3,166 |
| 税引前純利益 | 38,635 | 4,754 |
| 法人税等 | 8,754 | -693 |
| 非支配株主に帰属する 当期純利益 | 1,693 | -535 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 28,186 | 5,983 (26.9%) |

(鋼材売上数量(単体) 836千t、前年同期差 115千t減)

(3) 当第3四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

| 増益要因 | 金額 | 減益要因 | 金額 |
|-----------|-----|-------------|-----|
| 1. 販売価格は正 | 546 | 1. 原燃料等市況 | 456 |
| 2. 内容構成差他 | 156 | 2. 販売数量減少 | 116 |
| | | 3. 固定費増加 | 18 |
| | | 4. 変動費悪化 | 15 |
| | | 5. 前期決算期変更 | 9 |
| | | 6. 営業外損益 | 8 |
| 計(a) | 702 | 計(b) | 622 |
| | | 差引(a) - (b) | 80 |

| | 2021年12月 第3四半期 | 2022年12月 第3四半期 |
|----------------------|-------------------|-------------------|
| H2建値 (千円/t) | 46.3 | 46.2 |
| ニッケル(LME) (\$/lb) | 8.5 | 11.6 |
| 為替レート(TTM) (円/\$) | 112.1 | 136.5 |

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 前期 2022年 3月末 | 当第3四半期 2022年 12月末 | 増減 | 科目 | 前期 2022年 3月末 | 当第3四半期 2022年 12月末 | 増減 |
|----------|--------------------|-------------------------|--------|-----------------|--------------------|-------------------------|--------|
| 流動資産 | 391,686 | 453,935 | 62,248 | 負債 | 363,183 | 401,130 | 37,947 |
| 現金 | 58,142 | 74,560 | 16,418 | 営業債務 | 65,169 | 61,906 | -3,263 |
| 営業債権 | 149,848 | 165,732 | 15,883 | 有利子負債 | 229,090 | 273,099 | 44,008 |
| 棚卸資産 | 174,624 | 204,044 | 29,420 | その他 | 68,922 | 66,124 | -2,798 |
| その他 | 9,071 | 9,597 | 526 | | | | |
| 固定資産 | 336,500 | 334,232 | -2,268 | 純資産 | 365,004 | 387,037 | 22,032 |
| 有形固定資産 | 223,701 | 219,195 | -4,505 | 株主資本 | 303,179 | 322,837 | 19,658 |
| 無形固定資産 | 3,776 | 4,208 | 431 | その他の包括利益 累計額 | 26,533 | 27,931 | 1,398 |
| 投資その他の資産 | 109,022 | 110,828 | 1,806 | 非支配株主持分 | 35,290 | 36,267 | 976 |
| 資産合計 | 728,187 | 788,167 | 59,980 | 負債純資産合計 | 728,187 | 788,167 | 59,980 |